

「気候変動適応法案」を新潟で考える— part II

「暴走する世界の気象」



「激減する北極域の海氷」、1981年7月にカナダのコーンウォリス島で撮影

ゲスト 小島 覚さん 北方生態環境研究学房

近年気候温暖化が進んでおり、気象庁の統計では世界の平均気温は過去100年の間に0.73℃上昇し、今後も上昇し続けるものと予想されている。

気候温暖化が進むと暑くなるだけでなく“極端気象現象”というきわめて激しい現象が頻発する。極端な高温(猛暑)、異常乾燥、ゲリラ豪雨、突然の巨大竜巻、巨大台風、爆弾低気圧、記録破りの異常な寒波や豪雪など、今まで経験したことのない激しい気象現象が生じる。実際2017年の夏は全国的に異例の猛暑を経験しただけでなく、各地で激しい豪雨が発生し、各所で浸水、水没、流失、斜面崩壊などの災害がもたらされた。こうした“極端気象現象”は、日本ばかりではなく世界各地で起きており、その原因を作ったのは人間活動である。

今回のサイエンスカフェでは、こうした地球環境問題について解説し、この課題について共に考える。

ファシリテーター：藤彦祐貴さん(新潟大学)

2018年6月9日(土) 15時30分～17時00分

会場：ジュンク堂書店新潟店 地下1階 Café Space 参加費：無料(ドリンク1オーダーをお願いしております)

お申し込み：ジュンク堂書店新潟店レジカウンター(新潟市中央区笹口1-1 プラーカ1)

電話：025-374-4411(予約時に飲み物を指定ください)

サイエンスカフェ Web サイト(<http://www.ecosci.jp/n-cafe/>)からEメールで

サイエンスカフェにいがたではカフェ進行などをお願いできるボランティアスタッフを募集しています。
詳細は ecosci.honma@gmail.com へ